

## 議案第1号

### 横手北スマートインターチェンジ整備効果及び利用促進策について

#### 【要旨】

昨年度までの横手北スマートIC地区協議会で承認いただいた、横手北スマートインターチェンジの利用促進策の実施状況と、データ収集等により検証を行った整備効果について報告するとともに、今後の利用促進策を協議いただくもの。

#### ▼利用促進策

##### ○横手北スマートICの周知徹底・強化

- ・横手北スマートIC利用促進のため、秋田市や県北方面の観光客や来訪者を対象に周知徹底・強化として、ポスター・チラシを作成し、道の駅「たかのす」をはじめ11箇所にポスターの掲示とチラシを設置。またイオンスーパーセンター横手南店で秋田道4車線化PRルームにチラシを設置。

#### ▼整備効果

##### ①供用開始後7年目の利用状況

- ・横手北スマートICの1日あたりの平均利用交通量は、計画交通量970台/日に対し1,110台/日(+140台/日)
- ・横手北スマートICと前後IC(横手IC・大曲IC)の1日あたりの平均利用交通量合計は、横手北スマートIC開業前の約10,600台/日に対し9,690台/日(▲910台/日)

##### ②高速道路の利便性向上

- ・大森・大雄地域や市北西部からの高速道路へのアクセス性が向上し、地域住民の広域活動の活性化につながっている。
- ・曜日毎の利用状況を分析した結果、横手北スマートICは日常利用が多いことが推察され、周辺住民の利便性向上につながっている。

##### ③地域活性化の支援

- ・各種イベントや温泉施設等の利用者の誘客につながっている。地域間交流の促進に寄与している。

##### ④医療支援の強化

- ・大仙市から平鹿総合病院への救急搬送時間が短縮され、救急救命医療に貢献している。

##### ⑤地域災害支援の強化

- ・災害応援自治体から横手市内の洪水避難場所への迅速な救護活動、救援物資輸送が可能となり、地域住民の安全・安心につながる。

#### ▼今後の利用促進策

- 今年度に引き続き、秋田市や県北方面の観光客や来訪者を対象に E T C 割引内容や横手の観光地と利便性向上の紹介を盛り込んだポスター・チラシを作製して、目に留まりやすい道の駅（中央・県北地区）や休憩施設、観光施設へポスター・チラシを設置して P R 活動を実施

#### ▼その他

- 大曲花火大会当日の横手北スマート I C 利用状況の紹介